

## 平成 29 年度第 1 回大磯町高齢者福祉計画策定等委員会 議事概要

### 1. 大磯町の高齢者を取り巻く状況

- 事務局説明** 資料 1 - 1 大磯町の人口、高齢者人口と高齢化率の推移と推計  
資料 1 - 2 平成 21 年～平成 29 年の認定者数の推移

### 2. 各種アンケート調査の結果について

- 事務局説明** 資料 2 - 1 大磯町介護保険及び高齢者福祉施策に関するアンケート調査結果報告書  
資料 2 - 2 介護サービス事業者アンケート結果

### 3. 大磯町高齢者福祉計画(介護保険事業計画)策定の趣旨について

- 事務局説明** 資料 3 大磯町高齢者福祉計画(介護保険事業計画)策定の趣旨について

### 4. 介護保険制度の改正について

- 事務局説明** 資料 4 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律のポイント

### 5. 第 7 期大磯町高齢者福祉計画(介護保険事業計画)策定のスケジュール

- 事務局説明** 資料 5 - 1 平成 29 年度大磯町高齢者福祉計画策定等委員会の日程と主な議題  
資料 5 - 2 第 7 期大磯町高齢者福祉計画策定スケジュール

## 意見交換

### 委員

資料 1 - 1 の高齢化率のグラフは、人口ピラミッドグラフの方がピラミッド型、つぼ型、釣鐘型などと、見て分かりやすいし、高齢化だけでなく、高齢者を支えている年代が減少することが分かりやすいと思う。例えば、団塊の世代が現役だった 20 年前と現在、20 年後のピラミッドを比較してみると分かりやすいのではないかと思う。

### 事務局

どこの年代の層が多く広がっていて、逆に少ない層がどの年代か、高齢者を支える層が少ないということが一目でわかるものを、次回以降の委員会で推計等を活用する場面があったらお示ししたい。

#### 委員

資料1-2について、第6期高齢者福祉計画（介護保険事業計画）の25ページにある前期高齢者と後期高齢者のデータと比べると、今回のデータは認定率が低くなっている。これは予測よりも低くなったと思ってよいか。

#### 事務局

推計に対し、実績は低い数値となっている。

#### 委員

高齢化率は上がったが、認定率は下がったという結果になっているということか。

#### 事務局

団塊の世代の方が65歳以上となって高齢者数は増えているが、介護認定は80歳前後の方が申請されることが多く、介護を必要としない若い高齢者が増えたことも認定率が下がったことの要因の一つと考える。また、後期高齢者数の推計値と実績値を比べても、若干実績値のほうが少ないという結果も影響していると考えます。

#### 委員

（介護サービスを提供している）わたしたちの努力が報われたのかと思ったが、数字のマジックということがわかった。

#### 事務局

前期高齢者の皆さんが引き続きお元気でいていただけたらと思う。

#### 委員

資料2-1の一般高齢者問32のいきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営として参加したいかの質問で、参加したい27.6%とはどういう意味か。

#### 事務局

ぜひ参加したいは3%で、参加しても良いが24.6%で、参加する希望があるということで合計27.6%になる。

#### 委員

この数字についてどう考えるか。

#### 事務局

もっと高い数値であればと思う。

#### 委員

ありがとう。それを言ってほしかった。その下のグラフで、女性よりも男性の方が参加希望が高くなっているがこれについてはどう思うか。

#### 事務局

その前の設問で、活動意欲があるかどうかの質問は女性の方が意欲ある人が多いが、男性は意欲ある方が少ない中で、企画運営側での活動意欲は男性の方が強く参加したいと思っているということだと思う。

#### 委員

全ての地域を知っている訳ではないが、女性の方が強い。

#### 委員長

数字的に見ると解釈が難しい部分だが、地域活動をしていきたい、特に健康づくりのところで活動していきたいというのが読み取れると思うので、そこは町に期待したい。

#### 委員

買い物難民が多いが、それがアンケートでは出てこない。

#### 事務局

自由意見のところ、コミュニティバスのことや、日常生活の足の確保が厳しいという部分が出てきている。また、アンケートの中で、どういうサービスがあったら良いかを聞いているが、一番多いのは庭木の手入れだが、その次に買い物やごみ出しの割合が多くなっている。

#### 委員

計画策定の流れについてだが、地域ケア会議が地域包括支援センター主催で行われており、私もメンバーだが、地域の課題などを議論しており、かなり成果が出ていると思うので、地域ケア会議の意見を計画や政策に反映できるよう、お願いしたい。

#### 事務局

地域ケア会議では個別事例を取り上げ、その中から見えてくるテーマを積み重ねてきている中で、提言という形も踏まえた中で計画をどのように作っていくかは重要な部分と考えている。また、6月21日に行われた社会保障審議会介護保険部会にて、計画策定の基本指針案が示され、基本指針案の中でも、地域ケア会議等で検討された課題等を市町村の計画に反映させるなど、具体的な行政施策に繋げることが望ましいとされており、そのあたりも踏まえて計画を策定していきたいと考えている。

## 委員長

資料3の4ページに計画策定の流れが図で示されており、私たちがどういうことを考えていくのかをここで確認していただきたいと思う。住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくりを目指して、今後もこの委員会をやっていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。本日はありがとうございました。

## 次回会議

調整の結果次のとおりとなる。

日時：平成29年8月23日(水)18:00～19:30

場所：大磯町保健センター2階研修室